

「E-ディフェンス首都直下地震防災・減災実験見学会」のご案内

日本地震工学会では、地震・耐震工学に関連する国内実験施設についての知識を深めるため、「E-ディフェンスにおける重要施設の震災時における建物の機能保持に関する研究開発の見学会」を下記のとおり開催いたします。実験では、医療施設の手術室や情報通信室等を想定した各部屋に医療機器やサーバー類を設置し、地震によるこれら機器類の移動現象などを再現します。見学申し込み、プログラムにつきましては、下記要領をご覧の上、奮ってご応募くださるようお願いいたします。

日 時：平成21年1月22日（木）
13:30～17:00

会 場：独立行政法人防災科学技術研究所
兵庫耐震工学研究センター
（兵庫県三木市志染町三津田
西亀屋 1501-21 実験棟）
案内地図
<http://www.bosai.go.jp/hyogo/access.html>



試験体外観(平成20年12月11日現在)

集合・解散： JR 新神戸駅 （別紙参照）
E-ディフェンスまでは送迎バス利用

申込方法：別紙の申込書により，電子メールまたはFAXでお申し込み下さい。

（申込先）日本地震工学会 E-ディフェンス公開実験見学会事務局 鳴原宛

E-mail: office@general.jaee.gr.jp まで

電話 03-5730-2831 FAX 03-5730-2830

（お問い合わせ先）防災科学技術研究所 清水宛

E-mail: hidemaru@bosai.go.jp

スケジュール

13:30 JR 新神戸駅出発
14:30 E-ディフェンス到着
15:30 実験開始
16:15 E-ディフェンス出発
17:00 JR 新神戸駅到着・解散

定 員：40名（申し込み多数の場合は会員優先、先着順とさせていただきます）

見学科：3,000円

見学科にはJR新神戸駅-見学会場までの往復バス代金が含まれます。

実験内容

試験体は、重要施設を模擬した鉄筋コンクリート造 4 層の構造体とし、構造体は耐震構造と、免震構造の実験が可能となっています。今回の実験では、耐震構造とした試験体での公開実験を行い、室内被害の発生が予想されます。構造体内部は一般的な医療施設を想定して、手術室、診察室、検査室、病室や情報通信室等とし、各部屋には手術台、ベッド等医療機器やサーバー類を設置します。公開実験の入力地震動は、兵庫県南部地震時に観測された地震波(神戸海洋気象台観測波)を用い、構造体・機器類を含めた機能保持性能を明らかにする予定です。本実験は、平成 19 年度より文部科学省によって実施されている「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」の一環として実施されます。なお、本実験では構造物の破壊現象の解明を目的としていないため、構造物の破壊・崩壊に至る加振は実施しません。



試験体室内(1階 X線撮影室)



試験体室内(3階手術室)

集合場所のご案内

【集合時間】 2009年1月22日(木) 13:30

【集合場所】 JR 新神戸駅 1F(下図 参照)

【参加費】 ¥3,000 おつりが無いようご準備ください



集合場所 から送迎バスまでご案内致します。バスには「**日本地震工学会**」のステッカーが表示されています。お間違えのないようご乗車下さい。

1/22	13:30	JR新神戸駅発～Eーディフェンス行き
	16:15	Eーディフェンス～JR 新神戸駅 (17:00 到着予定)

緊急連絡先 : 日本地震工学会事務局 03-5730-2831

行事 参加申込書 (平成 21 年 1 月 22 日開催)

行事名	「E-ディフェンス首都直下地震防災・減災実験見学会」		
参加者氏名 <small>(ふりがな)</small>			
会員区分	該当箇所に をつけてください 日本地震工学会 (正会員・ 法人会員・ 学生会員) 会員外 (上記所属会員外・ 一般学生)		
勤務先名		所属部署	
所在地	〒		
	Tel :	FAX :	E-mail :
参加費	3,000 円 (JR 新神戸駅 - E-ディフェンス送迎バス代として)		
支払方法	当日現地集合場所でお支払い下さい (振り込みご希望の方は学会へご連絡下さい)		
通信欄			

注) * 1 : 日本地震工学会法人会員は特級会員 12 名、A 級会員 6 名、B 級会員 3 名、C 級会員 1 名を会員扱いとします。

* 2 : 申し込み後の無断キャンセルはご遠慮下さい。